

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

菊池中心市街地地区

令和2年6月

熊本県菊池市

1. 数値目標の達成状況の確認 様式4

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み	理由				改善策の方向性		
指標1	図書館・中央公民館の利用者数	人/年	38,819	40,000	94,018	確定 ●	○	あり				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	機能拡充を伴う生涯学習センターの整備により、利用者数の増加につながっている。また、図書館・中央公民館は一体の施設となったこと、加えて周辺施設の整備もされたことで、拠点性、利便性が向上した。	
指標2	観光物産館の利用者数	人/年	162,973	165,373	-	確定 ●	-	あり				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	(平成25年度以降、計測未実施により、評価値は計測不能なため、その他指標「観光物産館の買上客数」を評価する。)	
指標3	歩行者交通量(平日)	人/日	947	947	666	確定 ●	×	あり ●	740	R1年11月	×	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	交流拠点となる生涯学習センターや市民広場等が整備され、各々の利用者は大幅に増加した。しかしながら、市街地における歩行者は事後評価時と比べ、フォローアップ値は良かったものの、市内各施設への移動は車の利用が多いことから、歩行者交通量は減少傾向にある。今後は、かわまちづくり事業等や市街地におけるイベント等を活用するなど、歩いて回遊する仕掛けを地域住民と模索していく必要がある。	
指標4(社会資本)	歩行者交通量(休日)	人/日	843	843	396	確定 ●	×	あり ●	736	R1年11月	×	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市民アンケートより、「快適な居住環境」満足度は、目標に達した。本事業による各拠点の創出等が好影響を及ぼしたと考えられる。	
指標5(社会資本)	「快適な居住環境」に対する市民満足度	ポイント	0.08	0.15	0.16	確定 ●	○	あり				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市民アンケートより、「快適な居住環境」満足度は、目標に達した。本事業による各拠点の創出等が好影響を及ぼしたと考えられる。	
指標6(社会資本)	まちづくり組織数	団体	0	2	2	確定 ●	○	あり				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市民広場や生涯学習センター等の整備に関し、意見の聴取や活用の検討を行ってきた2つの団体が、活動を継続している。	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み	理由				改善策の方向性		
その他の数値指標1	観光物産館の買上客数	人/年	143,433	145,545	97,874	確定 ●		あり	128,573	R2年4月	×	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	観光物産館の買上客数はフォローアップ時で大幅な改善がみられたが、目標値を達成することは出来なかった。しかし、売上高は整備前までに回復してきていること、市民広場に子ども連れ家族の利用が増えたことから、徐々に効果が現れつつある。結果としては未達成であるが、市民広場再整備は市民の癒しとふれあいの交流拠点として十分な役割を果たしていることから、今後も利用促進に向けたPR活動に努めている。	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<p>・成果を持続させるために行う方策</p>	<p>中央公民館、中央図書館、市役所の更新と機能の強化による、市民交流・学びの拠点の形成。</p> <p>・中央公民館では、高齢者の生きがい講座や子育て支援講座、小学生向けの各種体験講座等、幅広い年齢層のニーズに応える講座を開催した。また、各種団体や地域おこし協力隊等と連携した新たな講座も実施された。</p> <p>・中央図書館では、蔵書数の充実とともに、小中学校と連携した図書システムの構築、熊本連携中枢都市圏による書籍の相互利用を可能とした等、市民が利用しやすい学びの環境を整えた。また、ボランティアグループによる読み聞かせ会や各種イベントの開催など自発的な活動が行われた。</p>	<p>・熊本県と連携した「防災士のためのスキルアップ講座」など新規講座の拡充を図り、令和元年度の中央公民館主催講座には、29講座に850人の参加があった。多様な生涯学習の機会を提供することができ、市民の知的交流の拠点となっている。</p> <p>・中央図書館の蔵書数は、整備前の29,825冊から令和元年度で104,523冊へ充実し、貸出冊数も34,292冊から213,573冊へ増加した。また、ボランティアによる学びの場づくりや「大人の学びカフェ」などの催しを開催し、利用者の学びと交流促進が図られた。</p>	<p>市民交流・学びの拠点である生涯学習センター(中央公民館・中央図書館)の活用や隣接するまちかど広場を利用したイベント開催など、引き続き持続可能な活用の推進を図る。</p>
	<p>癒しとふれあいの交流拠点の機能強化。</p>	<p>市民広場内では、図書に親しんでもらうことを目的に民間企業と中央図書館が共催し、パン・珈琲の販売、移動図書館を設置する等のイベントを実施した。また、クリスマス時期には、子供たちに楽しんでもらうために菊池観光協会がツリーを設置し、クリスマスの雰囲気を出したイベントを開催した。</p>	<p>2つのイベントで約6,000人の来場者で賑わい、市民広場の利用促進が図れた。また、今回の整備で遊具等を設置したこともあり、特に子ども連れの来場者が増加し、癒しの空間として多くの市民から利用されるようになった。</p> <p>市民広場における定期的なイベントの開催及び誘致により、さらなる利活用の推進と賑わいの創出を図る。</p>
<p>改善策</p> <p>・まちづくりの目標を達成するための改善策</p> <p>・残された課題・新たな課題への対応策</p> <p>・その他 必要な改善策</p>	<p>中心市街地での回遊性の向上。</p> <p>空き家・空き店舗の調査結果を活用して、空き家・空き店舗ツアーを開催し、中心市街地における創業支援を行った。また、かわまちづくり事業では、市民広場を拠点として市街地の回遊性を高めるイベント等を実施した。</p>	<p>空き家・空き店舗ツアーは約20名の申込者で行われ、交渉成立には至らなかったものの、中心市街地活性化に繋がる取組みの一つとなった。また、かわまちづくり事業では市民広場と迫間川をつなぐカヌー・SUP体験を実施し、約100人の参加があった。参加者は中心市街地を散策することで、新たな魅力を発見する機会となった。</p>	<p>中心市街地を回遊するイベントの開催や空き家・空き店舗を活用した飲食店や小売店等の新たな集客拠点の形成支援を拡充する。また商店街や温泉街の魅力を高め、菊池市に訪れた人、住む人が各所を回遊する取組みを推進する。</p>

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項